第6回 田園調布グリーンフェスタ 実施報告
～「防犯活動」をテーマに～

平成25年10月20日(日)
於　田園調布せせらぎ公園
参加人数　延べ約三千人

今回は開催六回目にして初の大雨にもかかわらず、多数の来賓の皆様、参加頂いた地域の皆様、並びにイベント実施役員等関係各位に厚く感謝いたします。

休憩所建物内及びその周辺に移動し、規模を縮小しての開催としましたが、新たなイベントも加わり、普段とは違った交流も展開されました。

改善すべき点も多々あり、今回の経験を生かして、今後さらに充実した地域のイベントに発展させていく所存です。

開催に際しまして協賛金にご協力頂いた皆様、また、東日本大震災募金にご協力頂いた皆様に感謝しますとともに、今後ともご支援方、宜しくお願い申し上げます。

（第6回田園調布グリーンフェスタ実行委員長　中川　幹雄）

みどりの講演会（休憩所2階集会室）
「大田区に景観計画ができました」

防犯ポスターコンクール最優秀作品
調布大塚小学校4年　星野明日香

（ご報告）当日集まった募金16,683円は宮城県東松島市へ送金いたしました。ご協力ありがとうございました。

避難所から拠点へ　その一

去る平成二十五年十月十二日（土）、田園調布小学校体育館に於いて、学校避難所住民説明会を開催致しました。

平成十四年より発足した田園調布小学校避難所運営協議会は、（社）田園調布会、田園調布親和会、田園調布西町会、田園調布協和会の四町会合同で構成され、当時教頭であった中川校長先生の熱心な努力と主導でマニュアルを作成し、以後、委員会で手直しをして、現在に至っております。

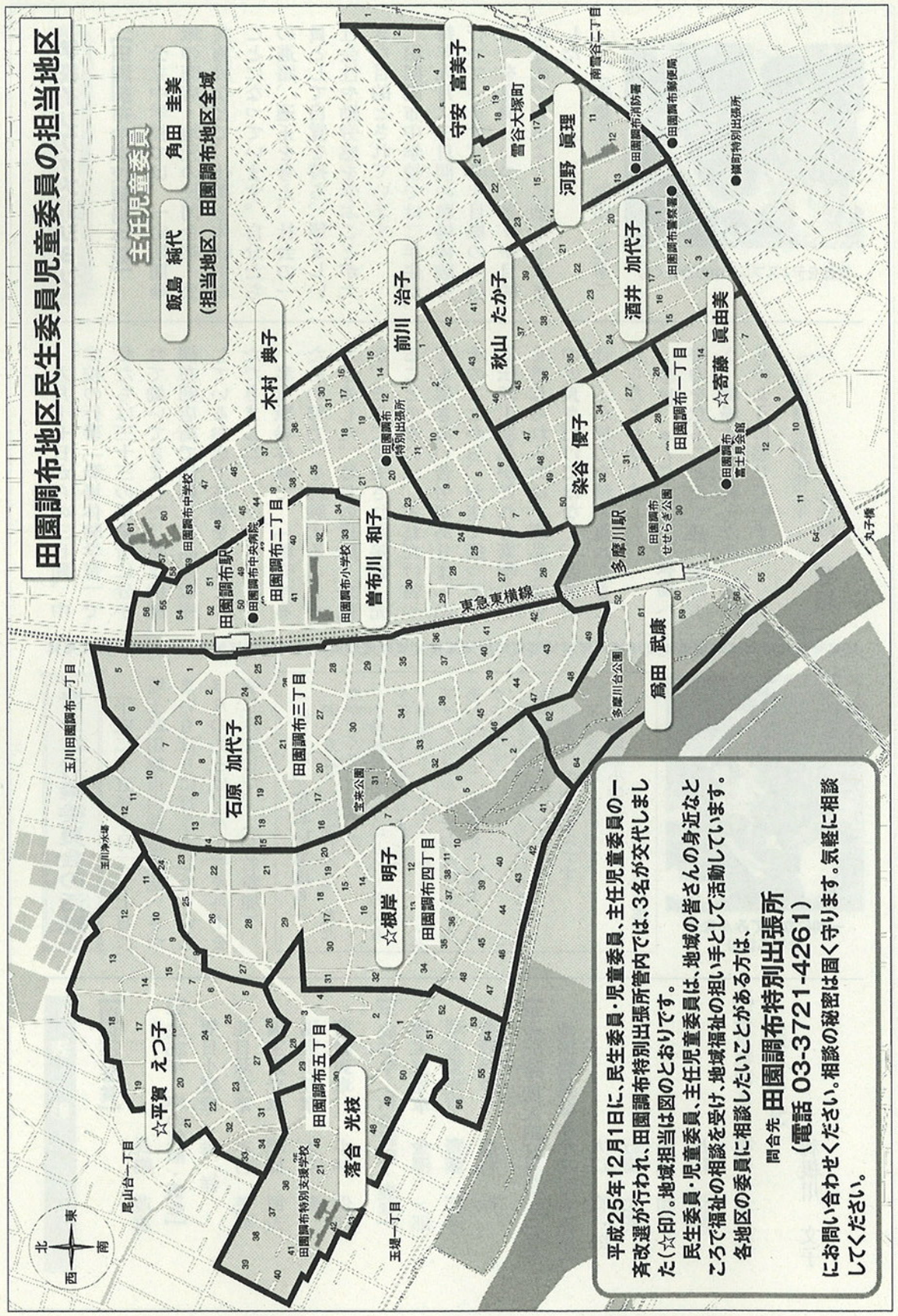
今回の集会の目的は、町会関係者だけではなく、広く住民の皆様やPTAの方々にも防災活動拠点の意義を知って頂くために開催しました。

開会挨拶を親和会馬渕会長が述べ、大田区防災課長がビデオにより防災に関する重要な説明を行いました。続いて中川校長先生より、避難所から拠点への移行について話しがありました。その中で、防災活動拠点は受身で避難する人を待つのではなく、災害に立ち向かう場所であると話されました。各町会の担当者が自宅や地元の現状を把握して避難所を開設、また、生活空間をつくり、大田区と情報を的確に交換しながら、避難者・生徒の安全確保と救済活動を行うことが、地域と学校の拠点運営としての役割なのです。

質疑応答では、参加者の要望・意見に区が回答し、最後に、私が挨拶をして閉会しました。

（田園調布西町会会長　赤羽根　芳雄）

田園調布地区民生委員児童委員の担当地区



平成25年12月1日に、民生委員・児童委員、主任児童委員の一斉改選が行われ、田園調布特別出張所管内では、3名が交代しました（☆印）。地域担当は図のとおりです。

民生委員・児童委員、主任児童委員は、地域の皆さんの身近なところで福祉の相談を受け、地域福祉の担い手として活動しています。

各地区の委員に相談したいことがある方は、

問合先　田園調布特別出張所
（電話 03-3721-4261）

にお問い合わせください。相談の秘密は固く守ります。気軽に相談してください。